

2022(令和4)年度 企画展

写真展 非平和女性展



人身売買から逃れてきたミャンマーの少女 Photo: Minzayar Oo/The New York Times/Redux/AFLO

開催期間:2022(令和4)年 11月12日(土)~12月11日(日)

開催期間中の休館日: 毎週月曜日と11月15日

開催場所: 川崎市平和館 1階 平和の広場

入場無料

開館時間: 9:00-17:00

主催: 川崎市平和館

協力: 根本美樹(写真コーディネーター)

~お問い合わせ先~

 川崎市平和館: 川崎市中原区木月住吉町33-1 Tel: 044-433-0171



「非平和展 女性」について

平和学という学問では、戦争や武力紛争はもちろん、貧困や差別・迫害、環境問題など、人から尊厳ある生を奪う行為や社会の構造は、全て非平和と位置付けています。非平和を女性という属性から考えるとどうでしょうか。

「世界は、人権宣言や国際人権規約をはじめとする、様々な人間の尊厳を具現化した国際法で、経済的に、社会的に、文化的に、市民的に、政治的に、男女は平等であるということに合意しているにもかかわらず、依然として女性に対する差別が広範に存在している」、これは1981年に発効した「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」の前文で提起されている問題意識です。そして、広範な性差別は、条約の発効から40年以上経った現在でも、私たちの社会が克服できていない大きな非平和であり続けています。

2022(令和4)年度の非平和展は、様々な非平和にさらされてきた「女性」を視点とした写真展を開催します。様々な非平和にさらされた女性を映し出した写真と、女性ジャーナリストが映し出した写真の展示を通して、誰もが尊厳を持って生きられる、性差別のない未来を、来場者の方々とともに考えてゆきたいと思えます。

企画展関連イベント 上映会

生きてゆく。この世界で——

海辺の彼女たち

日本の片隅で不法に働くベトナム人女性たち——

きらめく未来を夢見て、過酷な現実と闘う姿に心揺さぶられる物語



©2020 E.x.N K.K. / ever rolling films

脚本・監督・編集 藤元明緒

出演：ホアン・フォン、フィン・トゥエ・アン、クイン・ニュー 他

撮影監督：岸建太郎 / 音響：弥栄裕樹 / 録音：keefar / フォーカス：小菅雄貴 / 助監督：制作：島田雄史 / 演出補：香月綾 / DIT：田中健太 / カラリスト：皇子駿光 /

アシエイトプロデューサー：キタガワユウキ / プロデューサー：渡邊一孝、ジョシュ・レヴィ、ヌエン・ル・ハン

協賛：坂和総合法律事務所、株式会社ビヨンドスタンダード、長崎大学多文化社会学部 / 協力：外ヶ浜町、平館観光協会、日越ともいき支援会、日本ミャンマーメディア文化協会

後援：国際機関日本アセアンセンター

共同制作会社：ever rolling films

企画・製作・配給：株式会社E.x.N / 宣伝：高田理沙

(2020 / 日本=ベトナム / 88分 / カラー / 5.1ch / 1:1.85 / ベトナム語・日本語 / ドラマ / DCP)

5月1日(土)よりポレポレ東中野ほか全国順次公開

第68回 サンセバスチャン国際映画祭 新人監督部門 出品

第33回 東京国際映画祭 ワールド・フォーカス部門 出品

第42回 カイロ国際映画祭 インターナショナル・パノラマ部門 出品

上映日時: 2022(令和4)年11月19日(土) 14時～ (上映時間88分)

上映会場: 川崎市平和館 1階平和の広場

要申込: 先着40名様 川崎市平和館HPのフォーム、またはお電話(044-433-0171)でお申し込みください。
(定員に達し次第締め切り)

